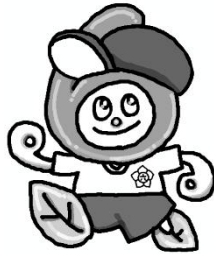


研究構想図

《学校教育目標》

- ◎よく考える子
- 力を合わせる子
- たくましい子



六小キャラクター「ろっくん」

《めざす子供の姿》

すすんで友達と関わり合い、
運動に親しむ、
心も体もたくましい子

《課題》

- ・約9割の児童が体育の授業は好きと答えているが、体を動かすことは好きになっていない児童が一定数いる。休み時間や放課後にも運動に親しむことができるようにしたい。
- ・運動することへの苦手意識がある児童も少なくない。運動することへの抵抗感をなくしたい。
- ・失敗を恐れるあまりチャレンジしようとする意欲が弱い。「まずは、やってみよう！」という意欲をもたせたい。

《研究仮説》

児童一人一人が、関わり合いを通して達成感を感じられるような体育の授業改善、様々な運動遊びに友達と一緒に取り組む体育的活動の時間の設定、自己の食習慣を見直すための学習や取組の3つの柱を中心とした教育活動を進めていくことで、進んで運動に親しみ、自分の体を大切にする子供が増えるのではないだろうか。

《研究主題》

一人一人が達成感を得ながら運動に親しみ、健やかな体を育てる体育健康教育の充実
～「かかわり合いを通して～」

UD

(ユニバーサル・デザイン)

ひと もの 時間 空間 ルール

授業研究

体育の授業改善

- ・UDを意識してルールや場、教材を工夫し、一人一人が運動の特性を味わいながら「できた！」という達成感を感じられるようにする。
- ・ゲーム性を取り入れた運動になるように授業を工夫する。仲間と関わり合いながら協働的に体力が身に付くようにする。
- ・PCを活用して、授業での効果的な活用を検討する。

体育的活動

楽しい運動機会の創出

- ・年間12回、中休みに「六スポタイム」を企画し、様々な運動遊びにクラスごとにチャレンジする場を用意し、運動遊びを楽しむ機会を増やす。
- ・児童の体育委員会を中心として、大縄タイム等の運動集会を企画運営し、定期的に運動に親しもうとする機会を意図的に設ける。
- ・運動の楽しさを味わえるような教材教具の整備・開発を行う。

食育・健康

児童の生活習慣の見直し

- ・栄養教諭や養護教諭による食育及び保健指導、給食センター栄養士による出前授業等を通して、生活習慣や食への知識を深める。
- ・児童の保健給食委員会において、健康・食に関する取組を行い、児童や保護者に発信する。
- ・学級活動、保健、家庭科、総合的な学習の時間等の中で、児童が食生活、健康を見直す機会を設ける。